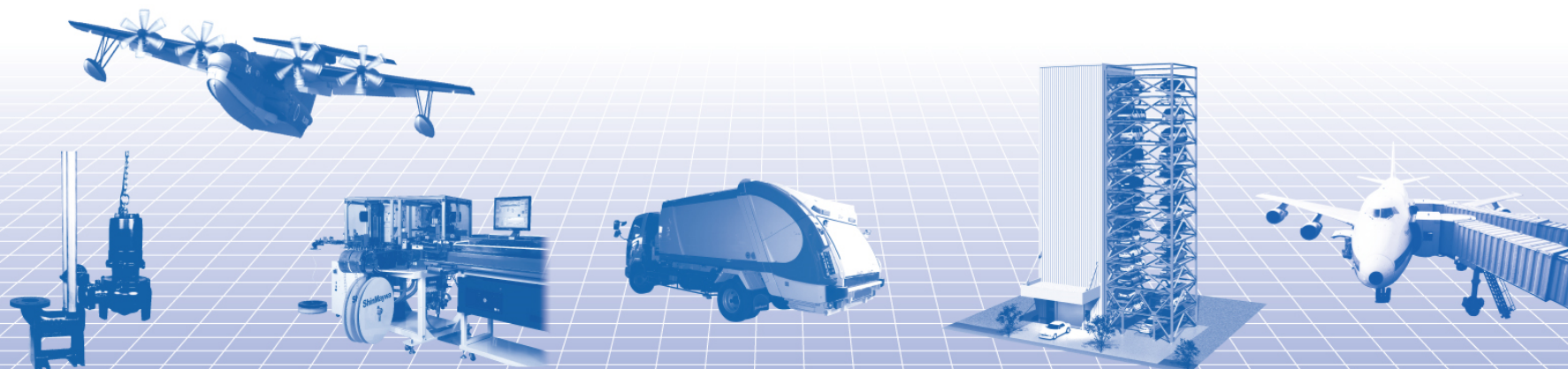


新明和工業株式会社

ShinMaywa

Brighten Your Future

輝かしい明日のために ——
世の中をもっと便利に、もっと快適に。



新明和工業株式会社

**2020年3月期 第2四半期
決算説明会**

2019年11月14日

1. 連結決算サマリー

2. 中期経営計画「CFG2020*」進捗状況

補足資料

*「Change for Growing,2020」の略称

※当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。

※当資料において「1Q」は3カ月累計期間、「2Q」は6カ月累計期間、「3Q」は9カ月累計期間、「通期」は12カ月累計期間を示しています。

1 連結決算サマリー

- ✓ 売上高：第2四半期として初めて1,000億円に到達、過去最高値を達成
- ✓ 営業利益：増収に加え、原価低減活動等により収益性が改善し、増益

(単位:百万円)

	2019.3期	2020.3期	前年同期比
	2Q	2Q	
売上高	98,557	108,098	+9.7%
営業利益	4,048	6,099	+50.7%
経常利益	4,290	5,826	+35.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,242	3,670	+13.2%

為替レート
(1USDル)

109.5円

109.0円

 : 過去最高

セグメント別 増減分析(前年同期比)

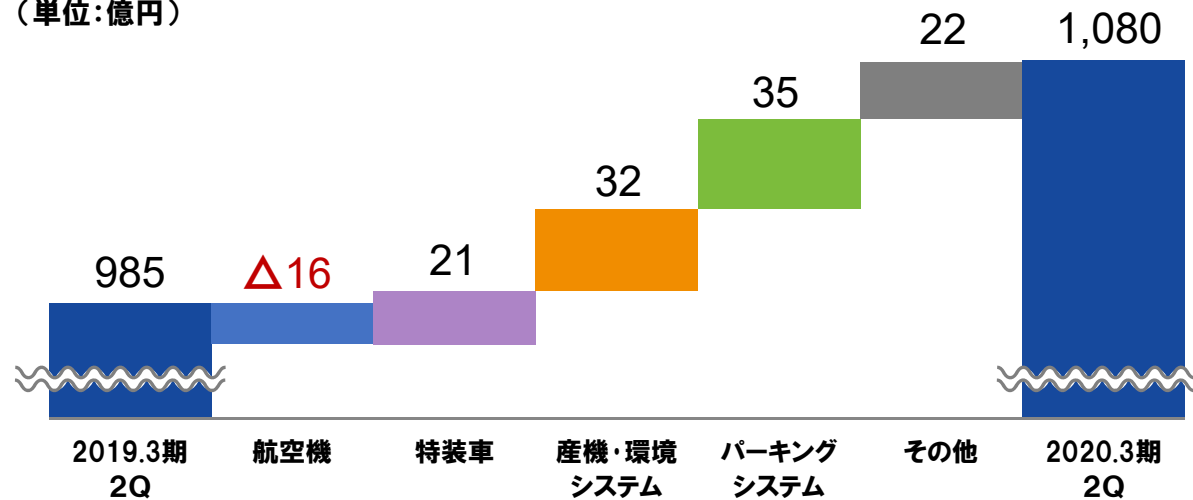
Contents

連結決算サマリー

6

売上高

(単位:億円)



■航空機

- ・ 防衛省向けの売上が減少

■特装車

- ・ 堅調な需要と高水準な受注残高を背景に増収

■産機・環境システム

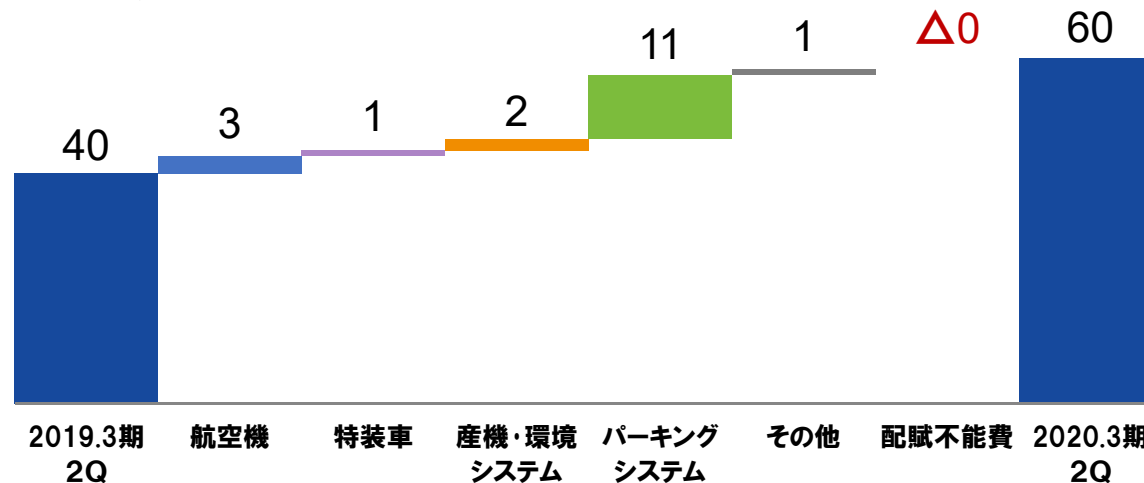
- ・ 全ての分野で増収

■パーキングシステム

- ・ 機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋いずれも増収

営業利益

(単位:億円)



■航空機

- ・ 「787」生産機数増、原価改善

■パーキングシステム

- ・ 増収による増益
- ・ 収益性の改善

- ✓ 売上高：「CFG2020」最終年度目標値を前倒して達成予定
⇒過去最高値の更新を見込む
- ✓ 営業利益：増収による増益を見込む(通期業績予想を上方修正)

(単位:百万円)

	2019.3期 実績	2020.3期 予想		前期比	4月公表比
		4月公表	10月公表		
売上高	217,297	230,000	230,000	+5.8%	—
営業利益	10,708	11,000	11,500	+7.4%	+4.5%
経常利益	10,437	10,500	11,000	+5.4%	+4.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,996	6,300	6,500	△7.1%	+3.2%

為替レート (1USD)	110.5円	105.0円	105.0円※
-----------------	--------	--------	---------

 : 過去最高

※10月公表の為替レートについては、公表日以降の前提レートを表示しています。

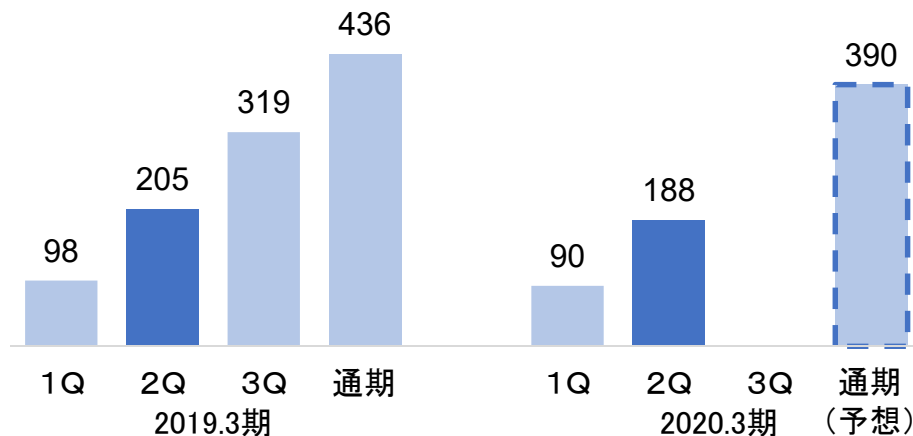
(単位:億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2019.3期 (実績)	2020.3期 (予想)	増減	2019.3期 (実績)	2020.3期 (予想)	増減
航空機	436	390	△46	6	15	+8
特装車	923	935	+11	65	64	△0
産機・環境システム	338	410	+71	24	27	+2
パーキングシステム	338	390	+51	23	27	+3
その他※	136	175	+38	10	11	+0
配賦不能費	—	—	—	△23	△30	△6
合計	2,172	2,300	+127	107	115	+7

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

売上高

(単位:億円)



■第2四半期実績(前年同期比)

防衛省向け: US-2型救難飛行艇の製造作業進捗遅れ

民需関連: 「777」生産機数増 (22機→24機)

「777X」生産機数増 (2機→6機)

「787」生産機数増 (65機→81機)

「787」売価ダウン

「G7500」生産機数減 (19機→13機)

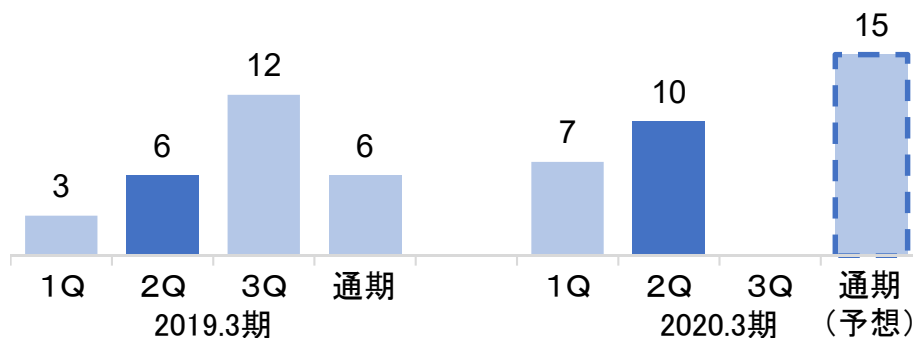
■通期業績予想(前期比)

防衛省向け: US-2型救難飛行艇の製造作業量減を見込む

民需関連: 為替の円高、「787」売価ダウンを見込む

営業利益

(単位:億円)



■第2四半期実績(前年同期比)

・「787」売価ダウン

・「787」生産機数増、原価改善など

○実績レート(円/USドル)

2019.3期2Q	109.5
2020.3期2Q	109.0

■通期業績予想(前期比)

・為替の円高を見込む

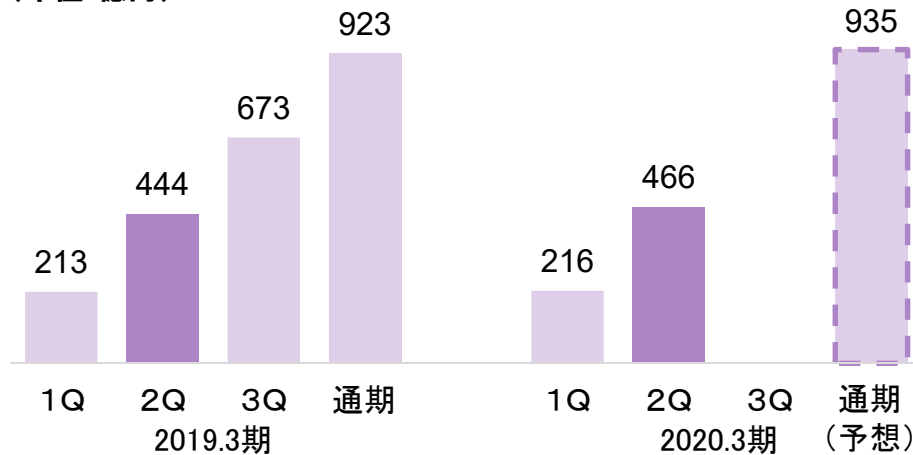
・工事損失費用の減少を見込む

○想定レート(2020.3期)
105円/USドル

○為替感応度(3Q以降)
1円の円安進行で
約1億円の営業利益増

売上高

(単位:億円)



■第2四半期実績(前年同期比)

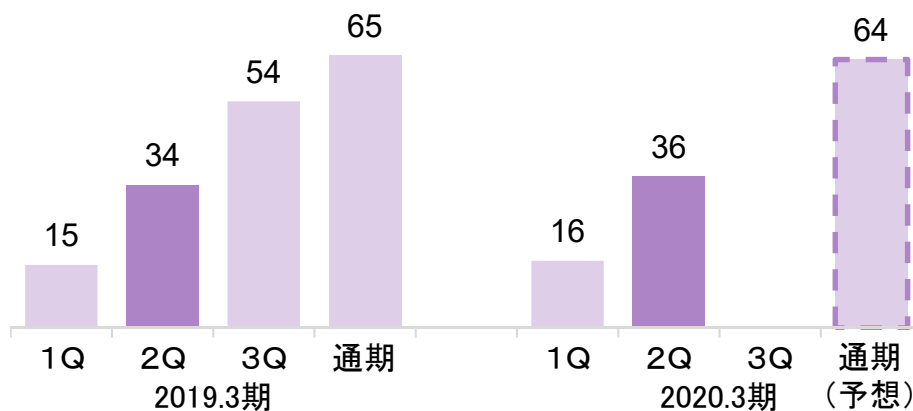
- ・ 堅調な需要と高水準な受注残高が寄与
- ・ 生産活動における効率改善施策も奏功

■通期業績予想(前期比)

- ・ 引き続き高水準にある受注残高により前年を上回る見込み

営業利益

(単位:億円)



■第2四半期実績(前年同期比)

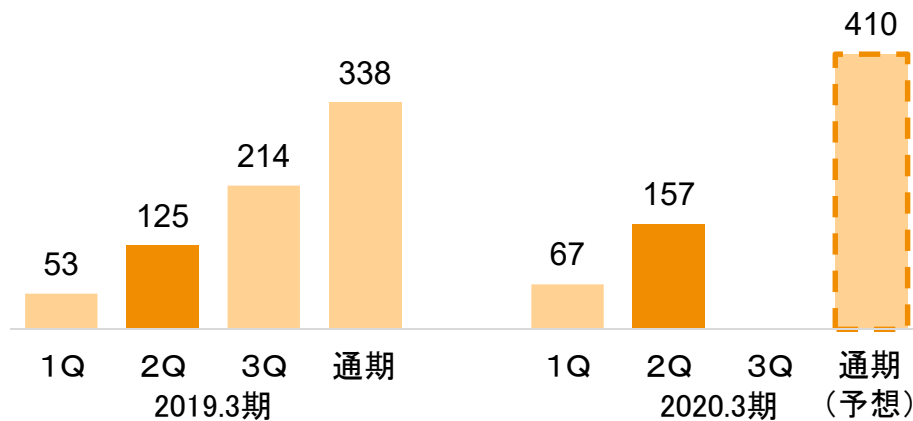
- ・ 増収による増益

■通期業績予想(前期比)

- ・ 経営基盤強化に向けた諸費用増加を見込むも、増収効果で前期並みの利益水準となる見通し

売上高

(単位:億円)



■第2四半期実績(前年同期比)

流体製品：機器、システム、サービス
いずれも堅調

メカトロニクス製品：前期に実施したM&A効果
により増加(真空製品)

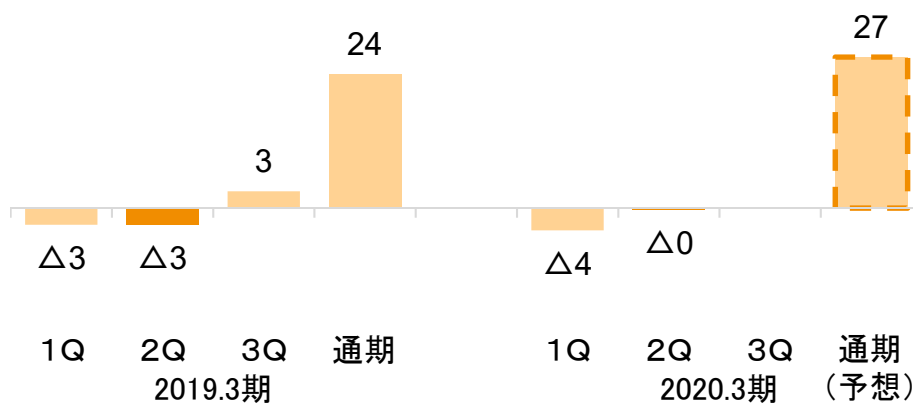
環境関連事業：プラント事業の新設案件
工事が進捗

■通期業績予想(前期比)

- 前期にM&Aを実施したメカトロニクス製品を
中心に、全ての分野で増収を見込む

営業利益

(単位:億円)



■第2四半期実績(前年同期比)

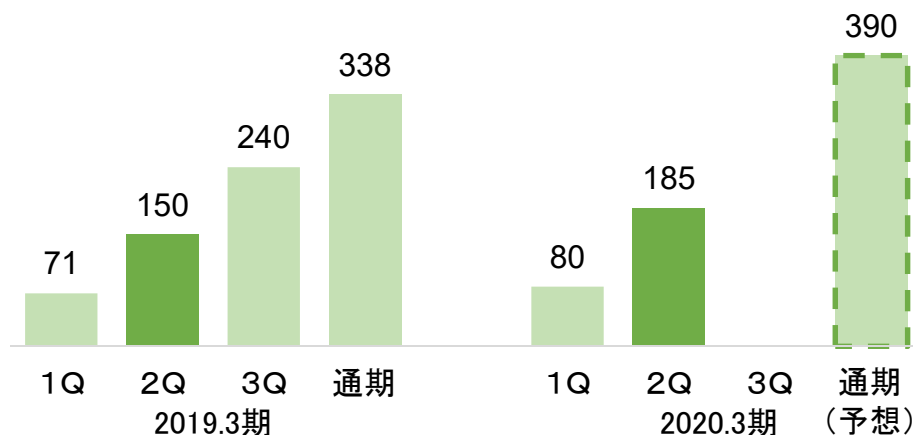
- メカトロニクス製品は、米中貿易摩擦の影響等を受け顧客が設備投資に慎重な姿勢
- 増収効果により改善

■通期業績予想(前期比)

- 増収による増益を見込む

売上高

(単位:億円)



■第2四半期実績(前年同期比)

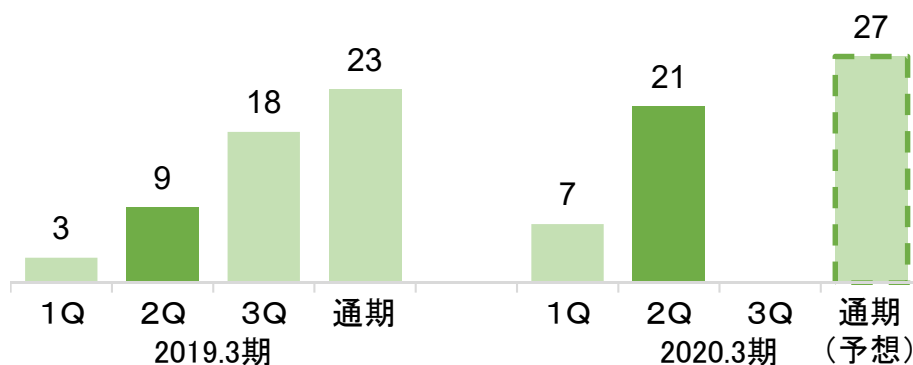
- 機械式駐車設備: 新設案件の工事進捗に加え、営業活動強化による売価改善
- 航空旅客搭乗橋: 製品の納入、保守の増加

■通期業績予想(前期比)

- 機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋、いずれも既受注案件の順調な工事進捗を見込む

営業利益

(単位:億円)



■第2四半期実績(前年同期比)

- 増収による増益
- 収益性の改善

■通期業績予想(前期比)

- 増収による増益を見込む

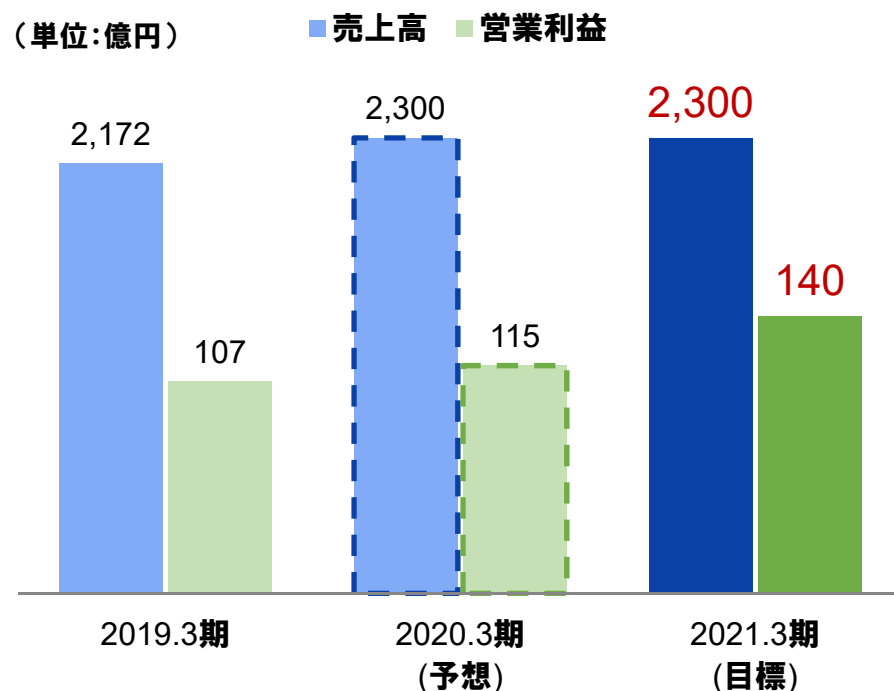
2 中期経営計画「CFG2020」進捗状況

業績目標

計画期間最終年度(2021.3期)において、

- 連結売上高2,300億円
- 連結営業利益140億円
- ROE8%

の達成を目指す。



方策

① 基盤事業の規模拡大・収益向上策

• 製品サービス

- (a) IoTやAI等を駆使した次代型製品開発
- (b) ソリューション提案力、サービス体制強化
- (c) 生産合理化投資、人材育成

• 海外市場

- (a) 戦略地域拡大と販売強化
- (b) 現地パートナー発掘、協業推進
- (c) 自社工場建設⇒生産能力・コスト競争力強化

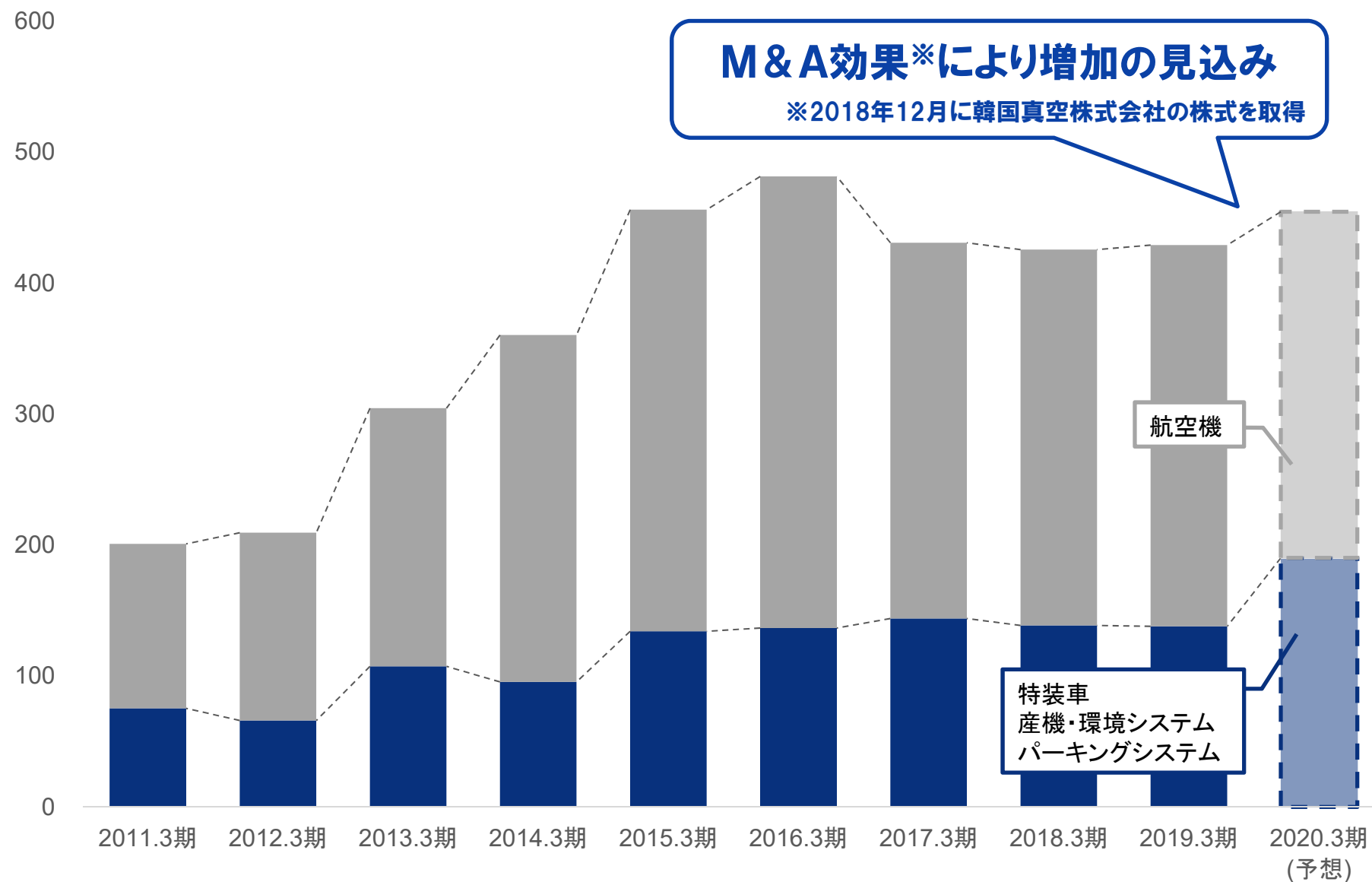
• M&A、アライアンス

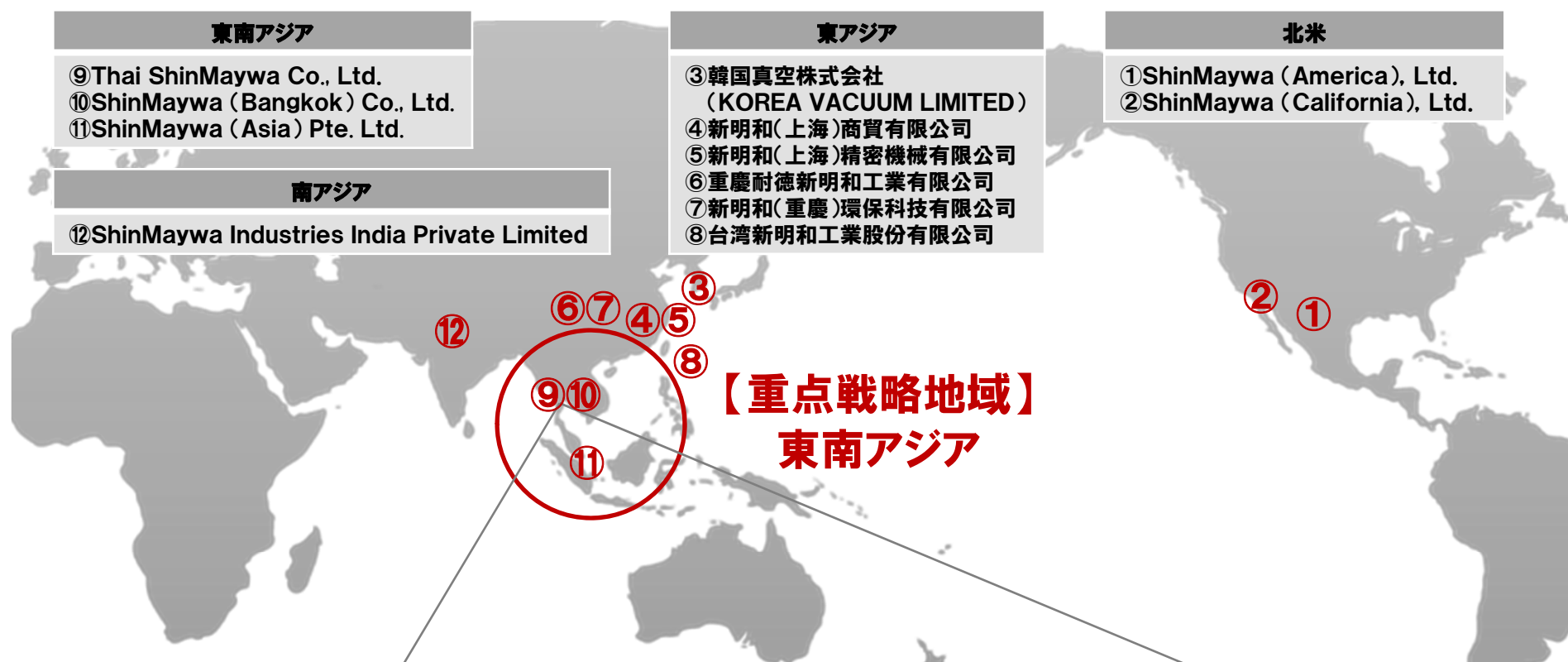
シナジーが期待できる相手先とのM&A、業務提携等のアライアンス強化

② 株主還元策

- 連結ベースで配当性向40～50%を基本に実施
- 資本効率向上を意識した自己株式の取得

(単位:億円)





Thai ShinMaywa Co., Ltd. (タイ新明和)

特装車

機能部品(ホイス)拡販に向けた生産能力増強

産機・環境
システム

流体製品(水中ポンプ)の
生産・販売拠点新設

GENERAL AUTOMATIC CARS PARKING
SYSTEM CO., LTD.* (G-PARK社)

パーキング
システム

機械式駐車設備のタイ市場
参入⇒現地代理店と協業

※販売代理店

特装車セグメント：タイ新明和の生産能力増強



- ✓ タイ新明和は、1988年の設立以来、日本の親会社向けに機能部品(ホイスト)を製造・供給(IP拠点)
- ✓ 近年は、タイ国内・東南アジアの近隣諸国を対象に、機能部品の拡販に注力
- ✓ 東南アジア市場は、製品品質(耐久性等)に対し高評価



- ・ ターゲット⇒東南アジア+インド市場
- ・ 需要が見込めるテレスコ式シリンダの生産能力増強

■投資の概要

- ◆ タイ新明和に対し、2019.3期に増資を実施(総額16億円の投資となる見込み)
- ◆ 2020年4月からの生産開始に向け、近隣の土地を取得し、めっき工場を新設中

2021.3期に売上高22億円※(前期比約10%増)を目指す

※タイ新明和(特装車セグメント)の売上高

産機・環境システムセグメント(流体製品)：タイ新明和を活用した生産・販売拠点の新設



高効率・高通過性水中ポンプ

- ✓ 東南アジアは、下水道の普及率が依然低く、設備用水中ポンプの市場拡大に期待
- ✓ 現在、タイ・ベトナム現地代理店を軸に、販売・メンテナンス対応
- ✓ 日本からの輸出対応は、納期・価格面に課題あり

- ・ 現地生産拠点立ち上げ⇒納期・価格面の課題解消
- ・ 東南アジアを重点戦略市場⇒販売・サービス拠点の拡充

■投資の概要

- ◆ 特装車セグメント現地法人「タイ新明和」の生産拠点活用⇒ポンプの組立工場を建設
⇒**当地での工場運営・経営ノウハウを生かし、スムーズな事業立ち上げを目指す**
- ◆ 2021.3期下期の生産開始を目指し、工場建設・設備費用として総額6億円を投じる計画

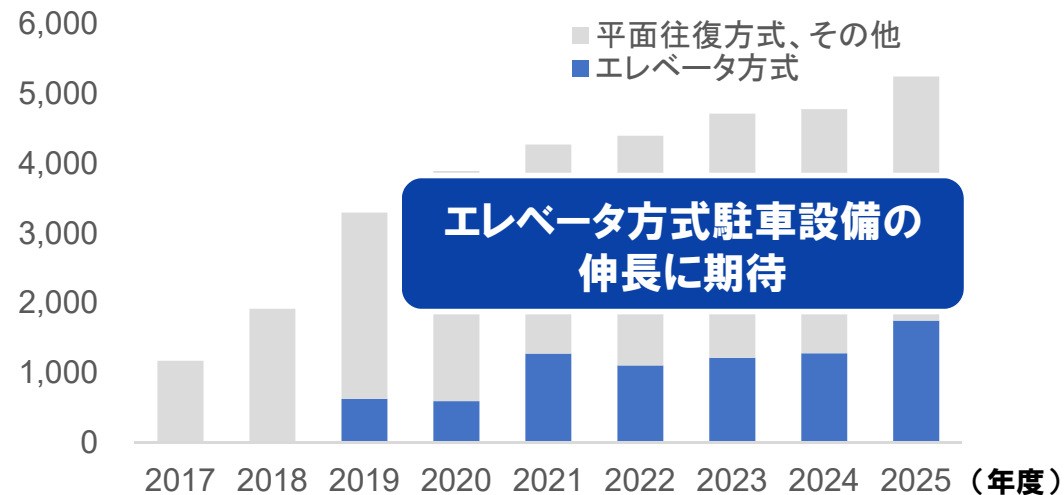
2023.3期に売上高5億円※を目指す

※タイ新明和(産機・環境システムセグメント)の売上高

パーキングシステムセグメント：機械式駐車設備(エレベータ方式)のタイ市場への参入

タイにおける機械式駐車設備の設置収容台数の推移(予想)

(単位:パレット)



エレベータ方式駐車設備の
伸長に期待

- ✓ 旺盛な都市開発と駐車場整備の法規制化
⇒機械式駐車設備の需要増加
- ✓ 当社主力製品「エレベータ方式駐車設備」の市場は形成途上
- ✓ ローカルの製造会社は現存せず、10社程度の代理店が輸入販売で対応(韓国、中国製)
- ✓ 設置後のトラブル(故障、使い勝手の悪さ)を抱える案件が山積



「エレパーク®」ショールーム完成予想図

- G-PARK社(ローカル法人)と販売代理店契約を締結
(販売、据付工事、保守・アフターサービスを委託)
- ショールーム仕様の駐車設備を建設(完成予定:2020年3月)

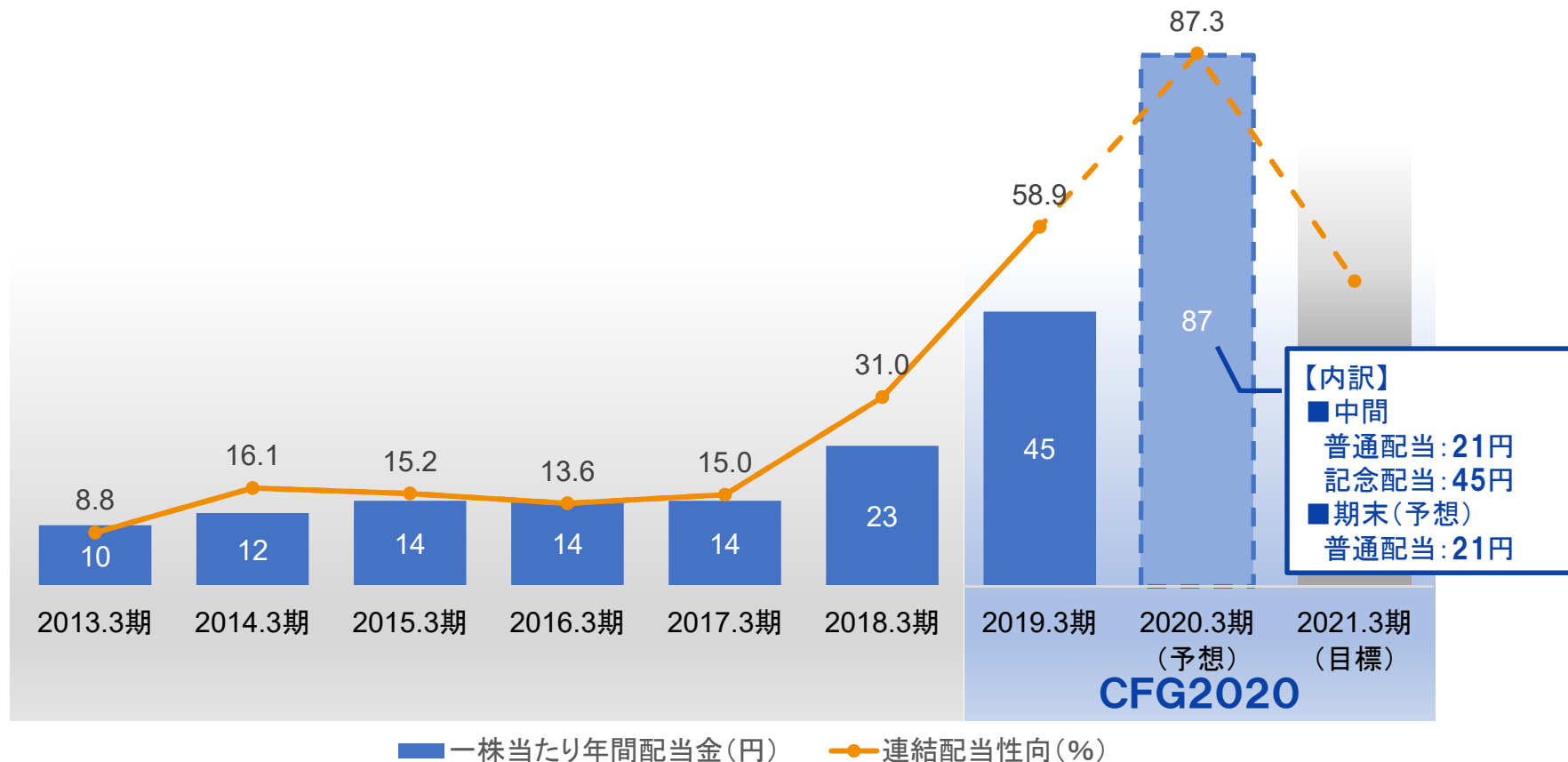
2023.3期にタイ市場で10基※の受注獲得を目指す

※ エレベータ方式駐車設備の年間需要の約3割相当

✓ 2020.3期の一株当たり配当金は「87円」の予想※

※記念配当45円を含む

✓ 2021.3期は、連結配当性向40～50%に基づき配当予定



成長投資および株主還元の進捗状況

Contents

「CFG2020」進捗状況

21



※1 計画期間3年間における累計額の予想値

※2 2019.3期(通期)と2020.3期(2Q)の合計

2019年10月末時点で合計3,000万株を消却済

補足資料



商号 新明和工業株式会社

本社 兵庫県宝塚市新明和町 1－1

設立 1949年11月5日

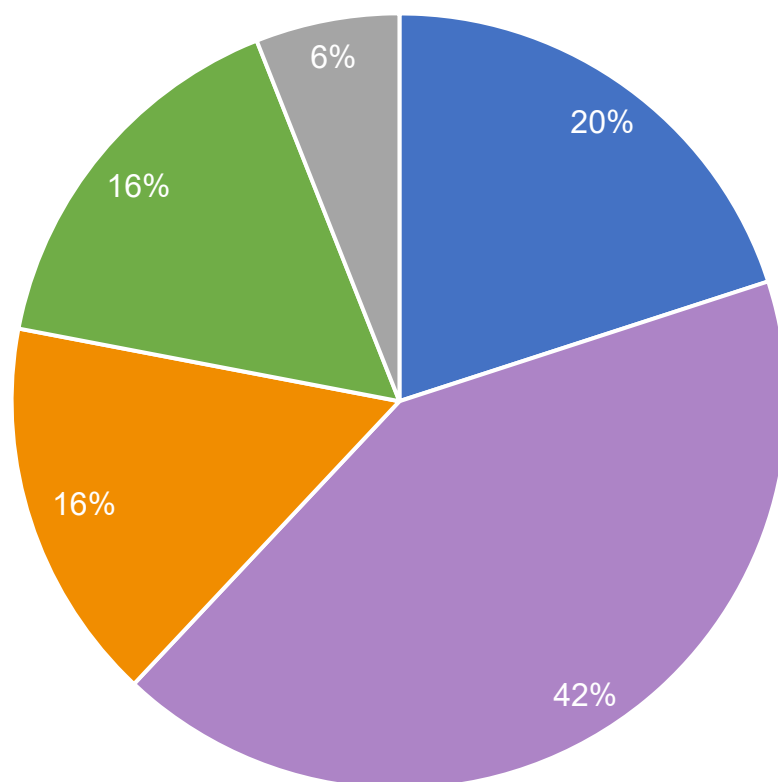
資本金 15,981,967,991円

代表者 取締役社長 五十川 龍之（いそがわ たつゆき）

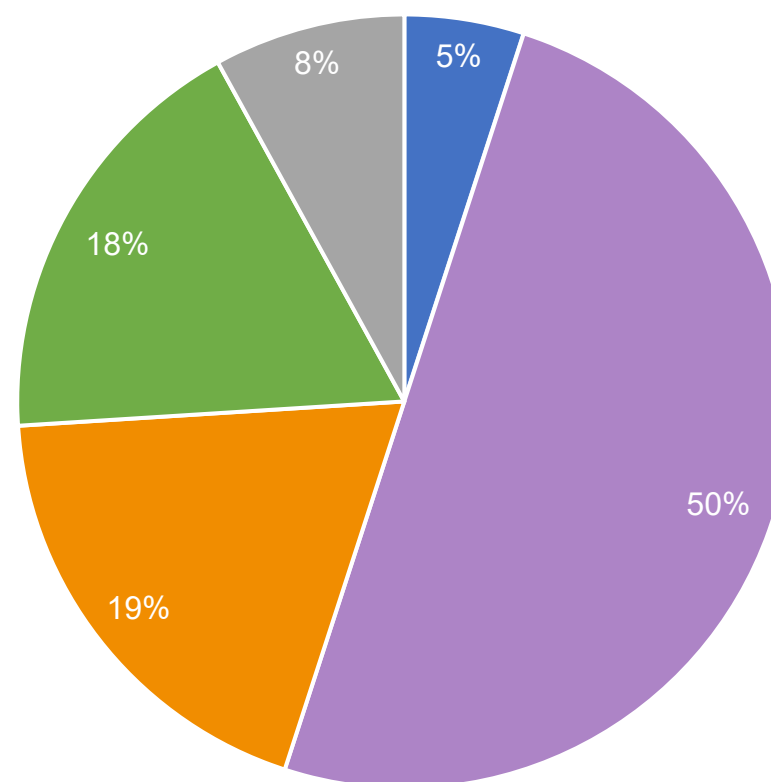
従業員数 連結 5,114名 単体 3,054名（2019年9月末現在）

連結子会社 20社

■売上高の割合



■営業利益の割合

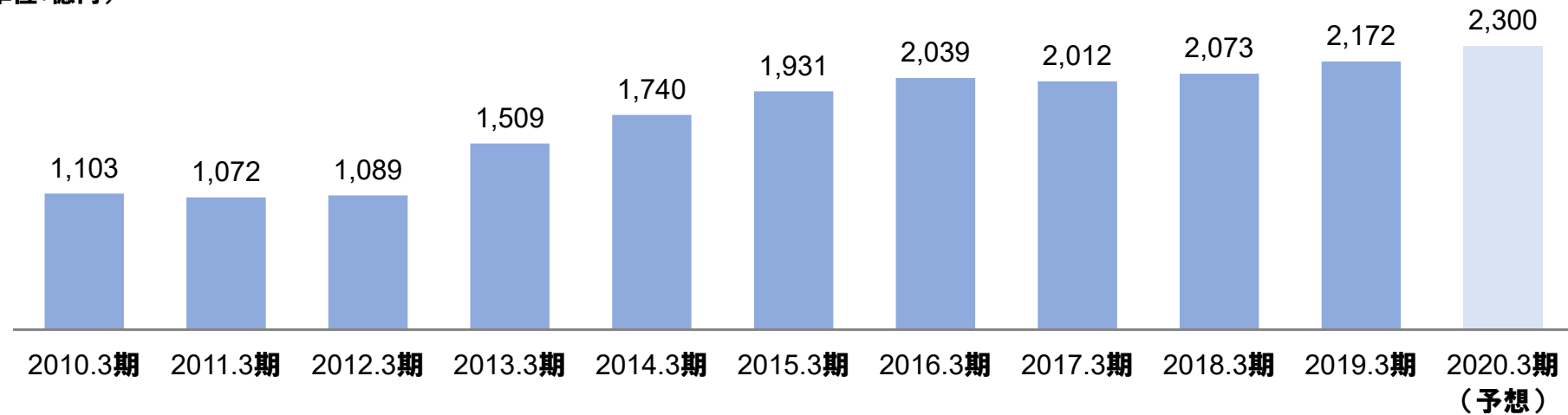


■ 航空機 ■ 特装車 ■ 産機・環境システム ■ パーキングシステム ■ その他

※営業利益は、各セグメントの営業利益を単純合計しており、配賦不能費用等は計算に含んでおりません。

■売上高

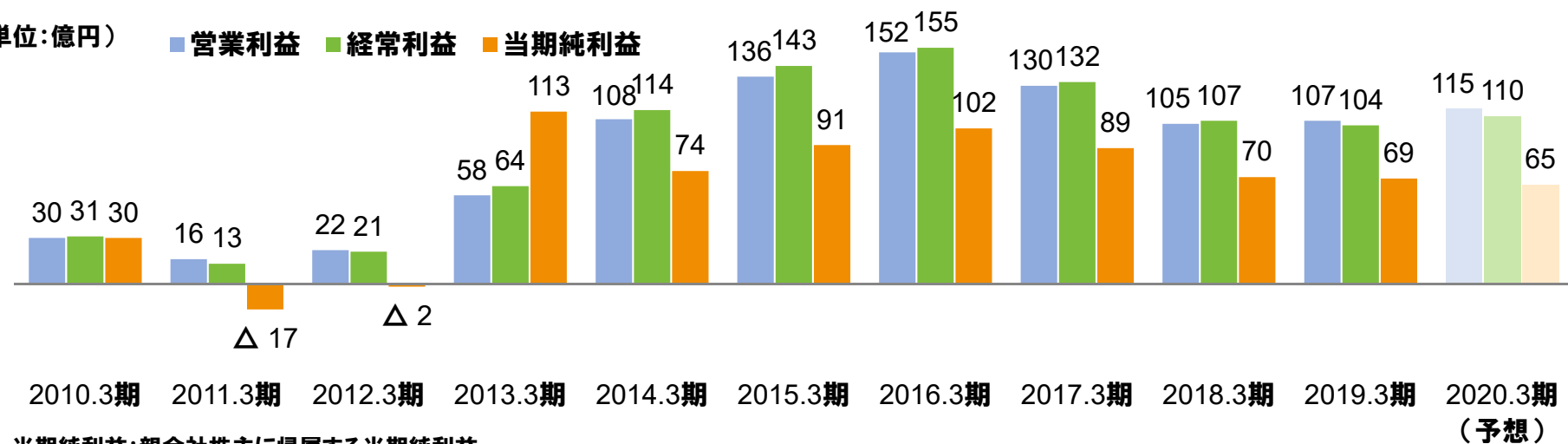
(単位:億円)



■営業利益・経常利益・当期純利益

(単位:億円)

■営業利益 ■経常利益 ■当期純利益



当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益

項目	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期
売上高(百万円)	193,131	203,917	201,204	207,335	217,297
営業利益(百万円)	13,635	15,260	13,067	10,594	10,708
営業利益率	7.1%	7.5%	6.5%	5.1%	4.9%
PBR(倍)	1.20	0.70	0.86	0.67	1.09
PER(倍)	13.88	7.74	11.41	11.79	18.01
ROE(%)	9.1	9.4	7.7	5.8	6.8
ROA(%)	5.2	5.6	4.8	3.7	3.5

セグメント	項目	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期
航空機	売上高(百万円)	41,143	47,262	39,028	40,699	43,635
	営業利益(百万円)	5,263	6,546	2,000	1,368	649
	営業利益率	12.8%	13.9%	5.1%	3.4%	1.5%
特装車	売上高(百万円)	84,775	87,462	89,304	90,317	92,333
	営業利益(百万円)	6,929	6,748	8,348	6,313	6,544
	営業利益率	8.2%	7.7%	9.3%	7.0%	7.1%
産機・環境システム	売上高(百万円)	27,928	30,155	29,451	30,099	33,810
	営業利益(百万円)	1,878	1,985	2,219	2,468	2,474
	営業利益率	6.7%	6.6%	7.5%	8.2%	7.3%
パーキングシステム	売上高(百万円)	27,440	29,359	31,145	31,979	33,863
	営業利益(百万円)	1,330	1,814	1,850	1,780	2,343
	営業利益率	4.8%	6.2%	5.9%	5.6%	6.9%
その他	売上高(百万円)	11,843	9,677	12,274	14,239	13,654
	営業利益(百万円)	439	796	960	1,049	1,037
	営業利益率	3.7%	8.2%	7.8%	7.4%	7.6%

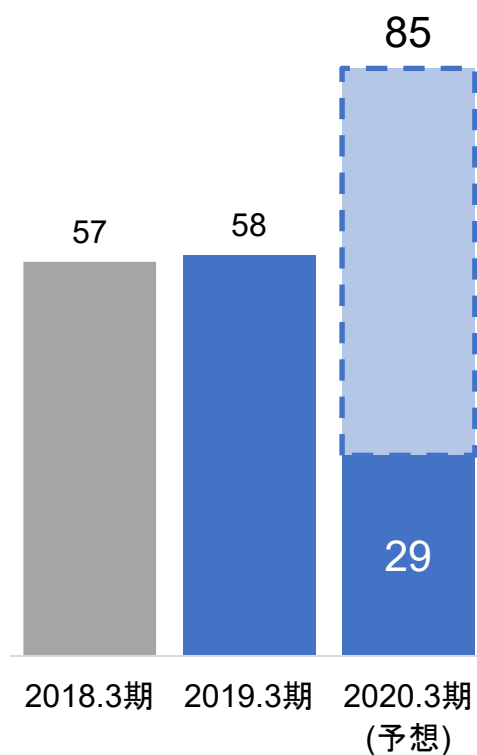
(単位:百万円)

項目	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期※	2019.3期
現金及び預金	12,920	17,085	18,772	18,750	23,153
受取手形及び売掛金 (電子記録債権含む)	77,519	76,642	76,475	74,795	80,955
仕掛品	23,274	20,702	20,273	19,594	18,468
流動資産合計	136,664	140,366	139,890	133,717	148,683
有形固定資産	27,841	29,131	30,403	31,279	34,865
無形固定資産	2,164	2,402	2,537	2,587	2,768
投資その他の資産	15,496	14,879	15,801	22,417	22,877
固定資産合計	45,502	46,413	48,742	56,284	60,511
支払手形及び買掛金	32,214	31,472	28,239	24,572	29,371
短期借入金	188	-	150	90	49,051
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000	-	-	238
未払費用	10,917	12,481	10,958	10,858	11,434
流動負債合計	60,457	59,603	56,385	50,871	110,822
長期借入金	2,000	-	-	-	603
固定負債合計	15,750	14,097	13,898	14,125	15,330
負債合計	76,208	73,700	70,283	64,997	126,152
資本金	15,981	15,981	15,981	15,981	15,981
資本剰余金	15,737	15,737	15,738	15,738	15,737
利益剰余金	72,736	81,522	89,111	94,861	94,992
自己株式	(145)	(154)	(3,250)	(3,252)	(44,597)
非支配株主持分	93	85	79	111	702
純資産合計	105,958	113,079	118,348	125,004	83,043
資産、負債純資産合計	182,167	186,780	188,632	190,001	209,195

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」を適用したことに伴い、表示方法の変更を行っております。

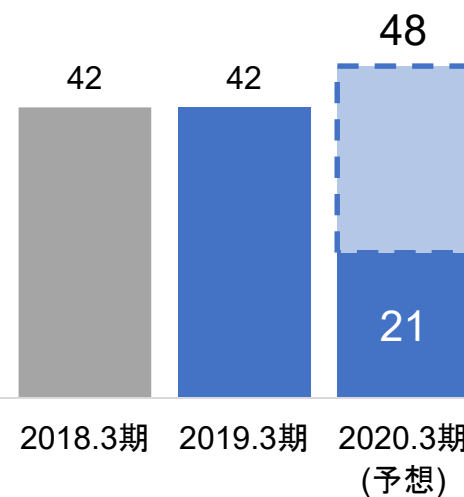
■設備投資額(有形)

(単位:億円)



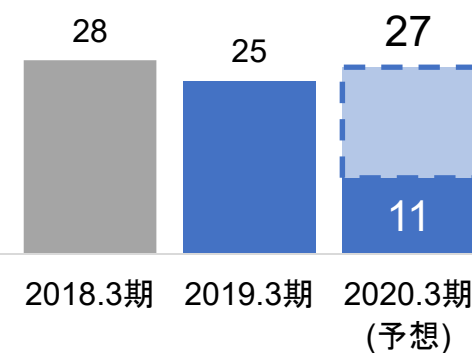
■減価償却費(有形)

(単位:億円)



■研究開発費

(単位:億円)



（単位：億円）

セグメント	売上高			営業利益		
	2020.3期 （予想）	2021.3期 （目標）	増減	2020.3期 （予想）	2021.3期 （目標）	増減
航空機	390	410	+20	15	32	+17
特装車	935	865	△70	64	50	△14
産機・環境システム	410	435	+25	27	37	+9
パーキングシステム	390	440	+50	27	32	+5
その他※	175	150	△25	11	13	+2
配賦不能費	—	—	—	△30	△24	+6
合計	2,300	2,300	—	115	140	+25

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

本資料は、新明和工業株式会社(以下「当社」といいます。)またはそのグループ会社(以下「当社グループ」といいます。)に関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする過去の事実以外の情報(以下「将来情報」といいます。)を含む場合があります、また当社の経営陣は将来情報に関する発言を行うことがあります。これらの将来情報の記載は、当社が入手した情報に基づく、本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点における当社の予測を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去の事実以外に、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。

したがって、将来情報は、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。当社の実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性がある重要なリスク要因は多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、アニュアルレポート等の当社の各種開示書類にも詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来情報に変更があった場合でも、当社はそれらの情報を最新のものに随時更新するという義務を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料に記載されている当社ないし当社グループ以外の企業等にかかわる情報や意見は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされるいかなる損害等についても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資に関する判断は、投資家各位の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

新明和工業株式会社